

2024年

313号

6月19日(水)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部

〒343-0845

埼玉県越谷市南越谷2-13-49

(越労連内)

TEL・FAX 048-989-2472

E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp



第73回シテイウオーク 県民福祉村の「けやき荘」へ 初夏の緑の中を歩く

今年は梅雨入りが遅れているとの事。

第73回シテイウオークは晴天微風の6月5日(水)南越谷駅南口広場に9時に集まったのは、五十嵐光範、長谷川昌弘、古川正治、高橋三郎、飛山幸夫、飛山ますみ、不破千代江さん、の7人。

今回は、ミラクルから出羽公園を経由して県民福祉村の「けやき荘」へ初夏の緑の中を歩きます。途中の出羽公園で近くに住む鈴木としえさんと合流します。

南越谷駅から徒歩15分ほどでミラクルは正式名を「越谷市科学技術体験センター」といい、実験・工作などの体験

を通じて楽しみながら理科や科学に親しめる施設です。

無料で、時間が合えばいくつかのサイエンスショーを体験できます。

越谷隕石というのをご存知ですか。1902年に越谷市桜井に4kgの隕石が落ち日本54例目、埼玉県で3例目の隕石との事です。

次に出羽公園に向かいます。参加者の中の長谷川昌弘さんは、12班の組合員に年金者組合の配布物を配布しており、この辺りは良く知っているとの事で道案内をお願いしました。

ただ、長谷川さんはいいつも配布は自転車で行っており、歩いてきたのは初めてだった。

途中、長谷川さんは配布している組合員の家を紹介しながらここが鈴木としえさんの家だといながら出羽公園につききました。

入口の近くのベンチに座っていた鈴木としえさんと無事合流でき参加者は8名になりました。

公園には幼稚園児も来ており、30人ずつくらいの男女に

わかれて池のまわりを競争していました。

出羽公園は毎年4月にチューリップフェスタが開かれます。

出羽公園の隣を走っている武蔵野線の下をくぐり、県民福祉村に向かいます。ここからは県民健康福祉村の近くにお住まいの古川正治さんの地元です。古川さんの案内で、

古川さんのお住まいとこれらが収穫をむかえる古川農園(家庭菜園)を紹介してもらいながら30分ほどで県民健康福祉村に着きました。好天に恵まれすぎたため、汗だくで相当疲れた参加者もいましたので健康福祉村を散策するのはやめ、隣の「けやき荘」の隣の日陰で早めの昼食をとることにしました。「けやき荘」

で越谷市の老人会の総会をやっていました。総会をやっている横の、日陰のベンチとレジャーシートで持ってきた缶ビールを配り、手料理やお弁当での昼食でした。ビールはおいしかったです。総会の横で良かったのか?

シテイウオークとしては、ここで解散しました。「けやき荘」では、越谷駅西口行のバス券をもらえます。バスで帰ったのは6名でした。次回は「ひのき荘」に行こうかという話でもしました。(五十嵐)

点 睛

軍拡とアベノミクスが 生存権壊す

岸田文雄政権と財界が二人三脚で作成した財政制度等審議会の建議(意見書)は、破綻したアベノミクスと大軍拡のつけを国民に押しつけ、憲法が保障する国民の生存権を根底から破壊する政策を明記しています。高齢化などで増える社会保障費の伸び(自然増)を安倍・菅・岸田政権は13年度から計約2兆5千億円も削減してきました。度重なる患者負担増などで掘り崩されてきた日本の「国民皆保険制度」のさらなる破壊です。窓口負担が払えず手遅れになる人が続出しています。

75歳以上の高齢者を標的に、一定以上の金融資産を要件に入院時の患者負担を増やすことや、窓口負担(原則1割)が3割に上がる「現役並み所得者」の対象拡大を狙っています。

国民の反対世論で押しとどめてきた利用者負担(原則1割)を2割3割とする対象者の拡大、ケアプラン有料化、介護老人保健施設などの全多床室での居住費負担の拡大を求めます。

介護保険の国庫負担割合を低く抑えていることを棚上げし、負担増を押し付ける構えです。

給付削減では、要介護1、2の訪問介護と通所介護を保険給付から外し、無資格のボランティアでも提供可能な自治体事業への移行を要求、徹底した給付削減と負担増路線、利用者や介護現場との矛盾がますます深まらざるを得ません。

又、5年で43兆円の軍事費を聖域化し、人口減少・少子化対策を口実に社会保障を徹底的に削ろうとしています。

来たる総選挙で、今の生活に冷たい政権に「No!」を突きつけ、生活を応援する政権に、変えようではありませんか!

(森 秀夫)

「越谷の学校給食費の無償化を求める学習・講演会」6月30日(日)14:00~中央市民会館5F会議室

講師:福島尚子さん(千葉工業大学・「隠れ教育費」研究室・准教授)